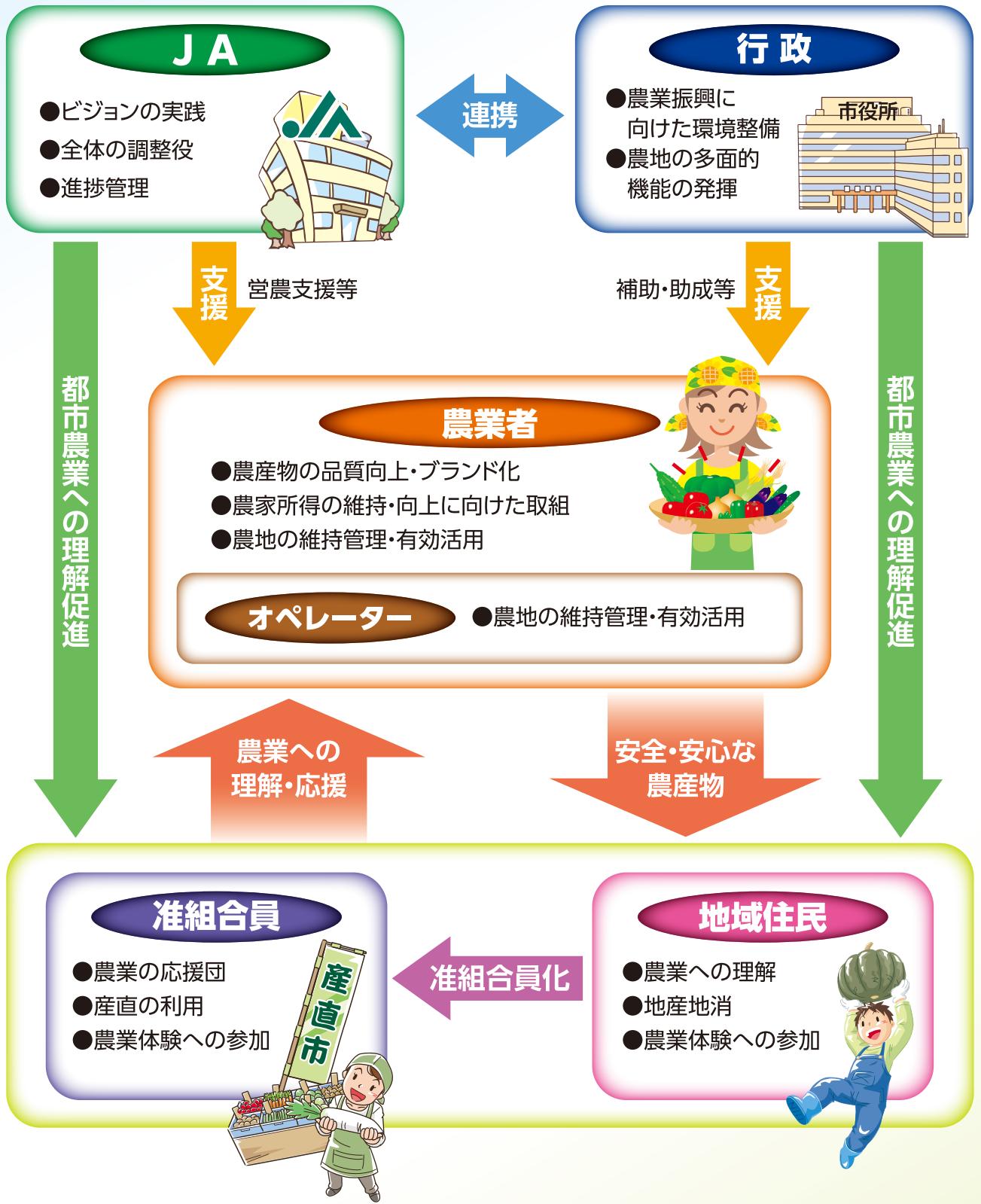


農業ビジョンの実現に向けた各組織の位置付け

農業ビジョンを実現するためには、農業者、准組合員、地域住民、JA、行政がそれぞれの役割を果たすことが必要となります。ここでは、それぞれの役割を以下の相関図で示します。



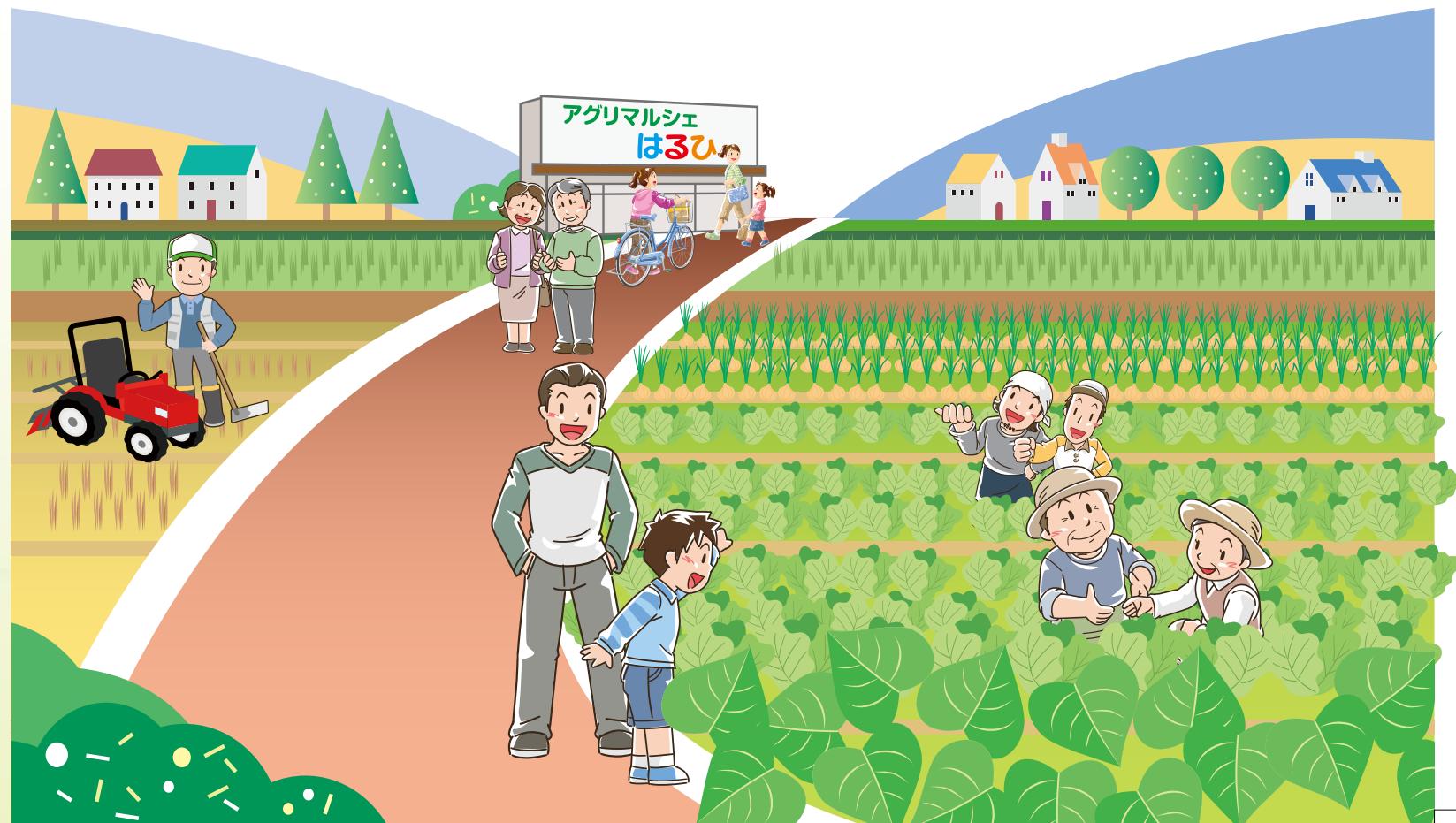
 西春日井農業協同組合

〒481-0033 北名古屋市西之保南若11 ☎ 0568-23-4001 (代)
URL <https://www.ja-nishikasugai.com/>

JA西春日井 自己改革への取り組み

～農家所得の向上と
都市農業の持続的発展に向けて～

平成31年1月





自己改革への取組状況 (経過報告)

JAグループでは、自己改革で掲げた農家所得向上等の目標や地域農業ビジョンの目標達成に向けて改革を実践しております。政府が定める平成31年5月までの農協改革集中推進期間の期限に向け、さらに様々な取組を進め、地域にとってなくてはならない組織となることを目指しています。

当組合においては、平成28年6月に第5次中期計画を、平成29年3月には「農家所得の向上と都市農業の持続的発展」に向けた「JA西春日井 農業ビジョン」を皆さまのご協力により策定し、現在第6次中期計画の策定に向けて取り組んでいます。これらの取組は、まさしく当組合の自己改革に他なりません。今回は、これまでに取り組んできたものと、現在検討を進めている内容について報告いたします。

(平成30年12月末現在)

農業者

新規就農者の確保と多様な担い手に対する育成・支援に取り組みます。

【平成29年度 取組内容】

- アグリスクール(農業塾)開講(23回)
- 清須市農業塾等への営農支援(72回)
- 資材価格の見直し(農薬104品、肥料5品)
- 各種講習会の開催(5回)
- 得意先係の担い手農家訪問支援
(先数181、回数504)
- 産直の新規会員加入(92名)
- 産直部会への栽培指導(1回)
- 農機具レンタルの導入(4月~)



実施予定および検討中の内容

- オペレーター協議会への育成支援
- 出荷組合の再構築にかかる検討
- 就農相談の実施

農地

行政と連携し、都市農地を「食」と「農業体験」と「環境」を通して農地の保全・有効活用に取り組みます。

【平成29年度 取組内容】

- 農地、営農相談室の設置(相談95件)
- 農業体験の実施(稲作3校、果樹4校)
- 収穫体験(スイートコーン)の実施(78名)
- 田んぼアート共催(4回、486名)
- 料理教室の開催(5回、76名)
- 農業祭および収穫体験(11/18, 19)
- 地元企業と連携した料理コンテスト(12/2)
- 生産緑地アンケート(352件)
- 農業応援定期貯金(11月~1月)
- しめ縄作り(15名)



実施予定および検討中の内容

- 行政への農地保全のための要請
- 市民農園の開設

生産・販売支援

農産物の品質向上と販路の確保・産直施設の充実を図り地産地消の促進に取り組みます。

【平成29年度 取組内容】

- 試験栽培の実施(ネギ、エダマメ)
- 土壤診断の実施(64件)
- 産直の出張販売(1回)
- 新たな販売先の選定、交渉(2回)
- お米フェアの実施(1回)
- 食と農の大商談会への参加(11/8)



実施予定および検討中の内容

- 契約出荷栽培の検証(ブロッコリー)
- 農産物の新規販売先の開拓
- 営農指導員の増員
- カリモリの加工品の製造検討

当組合では、組合員の皆さんと直接対話できる「座談会」や「地区別代表者集会」などを徹底した議論の場と位置づけています。その中でいただいたご意見・ご要望を事業計画に反映し、JAと組合員の皆さんとが一体となって、自己改革への取り組みを進めて参りたいと考えています。

なお、上記の平成30年12月末時点での取り組んでいる内容についても、継続的に実施してまいります。